

別記  
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 府 知 事	2023年 6月30日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 東京都中央区京橋二丁目2番1号	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 株式会社明治 代表取締役社長 松田 克也 03-3273-0735

環境マネジメントシステムの名称	ISO14001:2015
適用範囲	牛乳・乳製品の製造
導入年月日	1998年 12月21日
認証番号	73575066

基 本 方 針	<p><b>【環境ポリシー】</b>          私たち明治グループは、自らの事業が豊かな自然の恵みの上に成り立っていることを認識し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。そのために、バリューチェーン全体において地球環境と事業活動との調和を図ることで自然と共生し、環境に配慮した企業経営を推進していきます。</p> <p><b>1. 法令遵守</b>          私たちは、環境にかかわる法令・条例、ステークホルダーとの協定、業界規範、自主基準を遵守します。</p> <p><b>2. 環境マネジメント</b>          私たちは、環境マネジメント体制を構築し、事業活動を行う国内外の地域において環境保全活動の継続的な改善に取り組みます。</p> <p><b>3. 生物多様性の保全</b>          私たちは、事業活動に伴う生物多様性への影響を把握し、生物多様性の保全・再生に努めます。</p> <p><b>4. 環境負荷低減</b>          (1) 私たちは、脱炭素社会の実現に向けて省エネルギーを推進し、再生可能エネルギーを活用することで、CO<sub>2</sub>などの温室効果ガスの排出削減に努めます。          (2) 私たちは、水の有効利用、水質の適正管理に加えて、水源涵養にも取り組み、限りある水資源を大切にします。          (3) 私たちは、製品のライフサイクル全般およびあらゆる事業活動において、廃棄物の削減、再利用、再資源化を推進し、循環型社会の実現に貢献します。          (4) 私たちは、事業活動にて発生する汚染物質を適正管理し、地球環境の汚染防止を推進します。</p> <p><b>5. 従業員教育</b>          私たちは、従業員に対して環境に関する教育・啓発に取り組み、環境意識の醸成を図ります。</p> <p><b>6. 適切な情報開示</b>          私たちは、ステークホルダーに対して環境情報の適時・適切な開示と対話を図ります。</p>
---------	--

環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	2022年度目標（殺菌乳量換算） ①電力使用量21年度比2%削減 ②ガス使用量21年度比2%削減 ③水使用量21年度比2%削減 ④産業廃棄物21年度比2%削減 ⑤CO <sub>2</sub> 排出量21年度比2%削減
--	--

目標を達成するための取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産ライン安定稼働・稼働率向上によるエネルギー使用量削減</li> <li>廃棄原料の削減による環境負荷低減</li> <li>配送車の配送効率化によるCO<sub>2</sub>排出量削減</li> <li>洗浄工程の見直しによる水の使用量削減</li> <li>CIPユニットの回収水再利用化による水使用量の削減</li> <li>不良ドレントラップ更新によるガス使用量の削減</li> </ul>
-----------------	--

目標を達成するための取組の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産ライン安定稼働・稼働率向上によるエネルギー使用量削減 ⇒継続取組中</li> <li>廃棄原料の削減による環境負荷低減 ⇒継続取組中</li> <li>配送車の配送効率化によるCO<sub>2</sub>排出量削減 ⇒継続運用中</li> <li>洗浄工程の見直しによる水の使用量削減 ⇒継続取組中</li> <li>各CIPユニットの回収水再利用化による水の使用量削減 ⇒継続取組中</li> <li>不良ドレントラップ更新によるガス使用量の削減 ⇒継続取組中</li> </ul>
-------------------	---

目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	2022年度目標成果（殺菌乳量換算） ①電力使用量21年度比2%削減⇒143%増加 ②ガス使用量21年度比2%削減⇒62.2%削減 ③水使用量21年度比2%削減⇒2.8%増加 ④産業廃棄物21年度比2%削減⇒45%増加 ⑤CO <sub>2</sub> 排出量21年度比2%削減⇒36%削減 <ul style="list-style-type: none"> <li>新設備導入に伴う試運転等によるエネルギー使用量と廃棄物の増加。</li> <li>ライン増設に伴うエネルギー使用量および廃棄物量の増加。</li> <li>コージェネ設備廃止に伴い電力使用量の増加。</li> </ul>
-----------------------------	---

事業活動に係る法令の遵守の状況	毎年、内部監査を実施している。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	<p>目標設定し削減に取り組んできたが、製造ラインの新設・増設および変更等により電力、水使用量と廃棄物量の増加となり目標達成とはならなかった。</p> <p>コージェネ設備廃止によりガス使用量、CO<sub>2</sub>排出量は削減された。</p> <p><b>【見直し内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産稼働率の向上（超安定稼働）を継続的に取り組む。</li> <li>・廃棄物の分別教育を引き続き実施する。</li> <li>・太陽光発電設備導入による電力削減に努める。</li> </ul>

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。